

AWARDS FUKUOKA 2017 エントリーシート

事業名称	#ミライボーサイ 2017
申請LOM名	一般社団法人福岡青年会議所
事業年度LOM会員数	262名
事業年度理事長	2017年度理事長 鈴木大輔
2017年度理事長	鈴木大輔
事務局住所	福岡市博多区築港本町13-6 ベイサイドプレイス博多C棟 3階
事務局TEL/FAX	TEL:092-263-6333 FAX:092-263-6334
担当者	氏名:西島 大輔 電話番号:090-1114-6996 E-Mail:nishijima.wakou@gmail.com

事業参加者 (実施合計 名)	JC会員数	実施	131名	計画	262名
	協力団体・企業 などの関係者数	実施	名	計画	名
	一般参加者数	実施	13,500名	計画	14,000名
事業実施に至る背景	<p>福岡は今、全国の中でも珍しく人口が増加している都市でもあり、成長都市である。その一つの要因として、福岡市は2014年5月1日に国家戦略特別区域として選定されており、その結果、海外旅行者やビジネスマンが福岡には多く訪れている。</p> <p>人が賑わう都市になるのは大変喜ばしいことではあるが、賑い人口が増えることを環境に置き換え考えると様々な問題が発生する。CO2の排出、ゴミの増加などの解決策を考えなければならない時期に直面している。また近年、発生している激甚な自然災害。東日本大震災から真の復興を遂げていないにも拘わらず、次々起こる未曾有の事態。</p> <p>去年は同じ九州地区の熊本地震をはじめ想定外といわれていた地域での大規模地震が続いている。また、長崎・熊本県内でも昨年6月に観測史上最大を更新する豪雨により土砂崩れ等が発生したことは記憶に新しい。このように自然災害の脅威が高まる中、福岡においても防災分野での対策が急務であると考えられる。</p>				
事業目的 対外	自然の中で楽しみながら様々な体験を行い、防災という堅いイメージを振り払い意識を芽生えさせる。				
事業目的 対内	JCメンバーの防災意識を高め、災害時の動きを明確にすること。				
事業内容 400文字程度	身近な環境や自然に興味を持ってもらうには、自然の中で遊ぶ楽しさを体験すべきである。自然と触れ合った体験のない人たちが将来、自然の大切				

	<p>さや脅威を感じられるだろうか。自然とふれあい、遊ぶ事はとても大切な体験であるため自然と共に楽しめるエリアを設置し思う存分楽しんでいただく。その上で、自然と共存するために様々な起こりうる自然災害への対応力を磨くためにも、参加市民が自分の中で楽しみながら今後、まだ見ぬ災害時の対応力を備えるために防災に関連したエリアを設置した。</p>	
<p>事業の概要 (○を付けてください)</p>	開催の形式	主催 共催 ・ 主管 ・ 副主管
	事業対象者	メンバー・市民・小学生・その他学生・その他
	事業区分	新規事業 ・ 継続事業
	公益・共益区分	公益 ・ 共益
<p>事業予算・決算</p>	予算額	¥3,010,000
	決算額	¥2,890,847
開催日時	2017年 5月13日 12:00 ~ 5月 13日 19:45	
開催場所	<p>海の中道海浜公園 福岡県福岡市東区大字西戸崎 18-25</p>	
<p>協力団体</p>	共催	
	協賛	
	後援	
	その他 協力	<p>福岡市社会福祉協議会 福岡市 市民局 防災・危機管理部 福岡市民防災センター 海の中道芸術花火 2017 開催委員会 株式会社ティーアンドイー</p>
<p>事業実施へ工夫した点と その効果 400文字程度</p>	<p>事業をただするのでなく、事業後「福岡市社会福祉協議会」との災害時相互協力締結を行った。それにより、有事の際に効率的、効果的に災害ボランティア活動や被災者支援活動が明確にできるようになった。そして、これからの福岡が災害に強い都市となるため、福岡 JC としてしっかりとした体制で、まちづくりに大きなサポートができるようになった。</p>	
<p>地域社会への影響 400文字程度</p>	<p>今回の九州北部豪雨災害時に災害時相互協力締結を行っていたことにより、「福岡市社会福祉協議会」連携をとり物資の収集する際の場所を提供い</p>	

	<p>ただけたり、こちら情報も共有することが出来た。今回の九州北部豪雨災害が、締結後すぐだったとは言え、担当委員会であるわたしたちの動きやJCメンバーの動きが非常に早く、社協との情報共有、また迅速な対応ができた。このことから、災害に対して意識が向上していると言えた。</p>
<p>LOMへの影響 400文字程度</p>	<p>事業当日に参加したJCメンバーからは、防災意識が高まったという意見をいただいた。</p> <p>福岡市社会福祉協議会との災害時協定締結を行うことができ、福岡JCとして災害時の活動が明確になった。</p> <p>2017年7月5日から6日にかけての九州北部豪雨災害時が起きた際に、翌日には社会福祉協議会との連携をとり、JCメンバーへの支援物資要請や人的支援を迅速に行うことができた。12日、13日、14日には現地への人的支援に多くのメンバーが急な呼びかけにもかかわらず、参加することができた。</p>
<p>事業PRポイント ご自由に記載して下さい</p>	<p>事業当日は、「キャンプ」「ボルタリング」「ジャンプ」「ステッカー」という4つの異なるコンテンツを設営し体験していただくことで、楽しみながら防災意識を高めていただくことができた。</p> <p>会場となった【海の中道海浜公園】は災害時の広域避難場所であり、実際にその場所で事業を開催させていただくことにより、参加された市民に具体的なイメージを持ってもらうことができました。また都心部では味わえない、広大な土地で、海辺と森林が同一し自然を大いに感じることもできました。</p> <p>また、当日は「海の中道芸術花火大会」と同日、同会場にて開催することで、多くの参加者に事業に参加頂け、花火大会側のステージ上では福岡JCとミライボーサイ2017の告知をさせていただくことができ、広範囲にPRすることができた。</p>

事業風景写真も4～5枚程度あわせてお送り下さい。

エントリーアドレス：fukuoka.awards@gmail.com